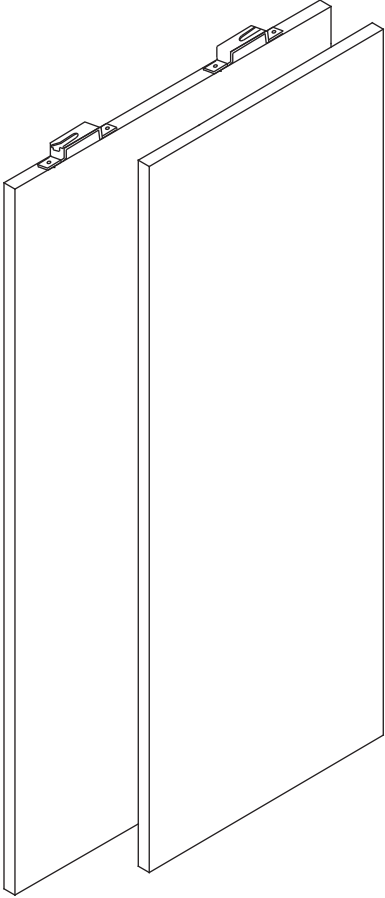
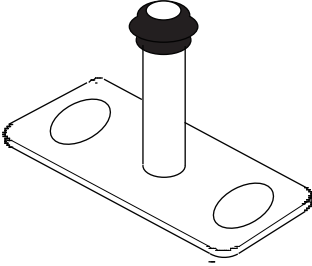
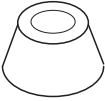
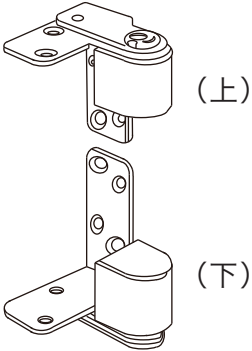
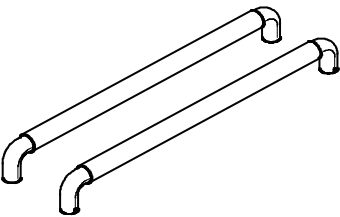


ハートフル  
コンビネーション 片開  
《扉施工用》

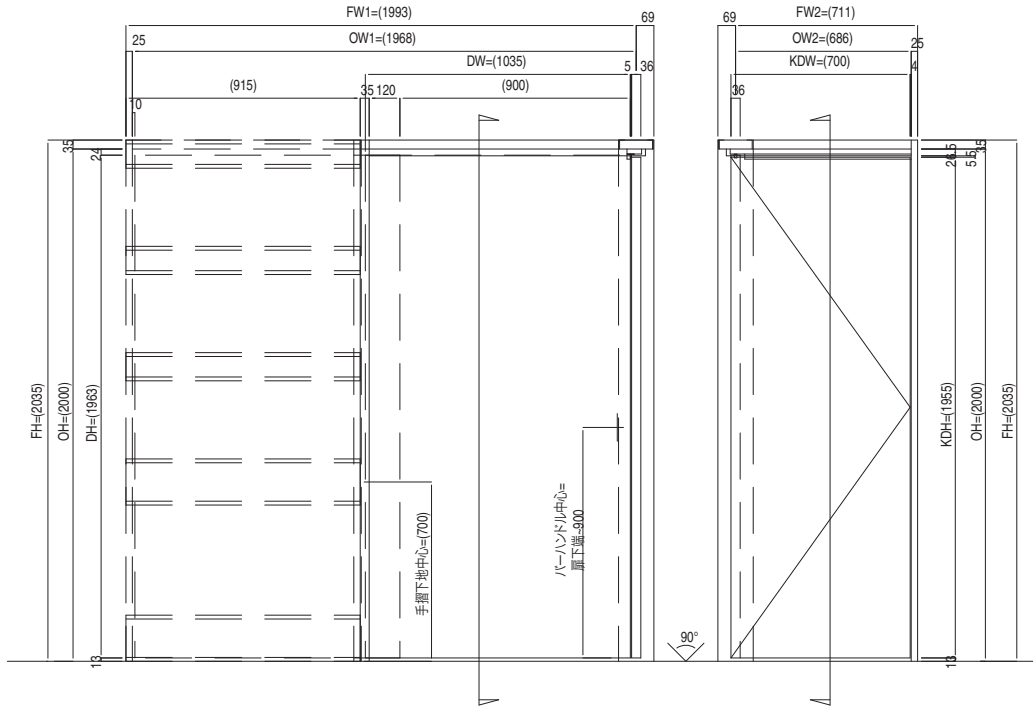
このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

！ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

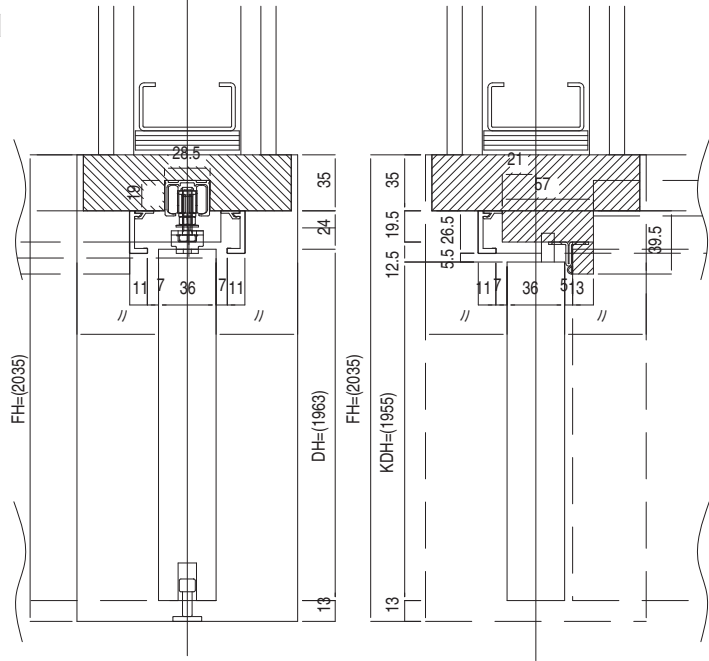
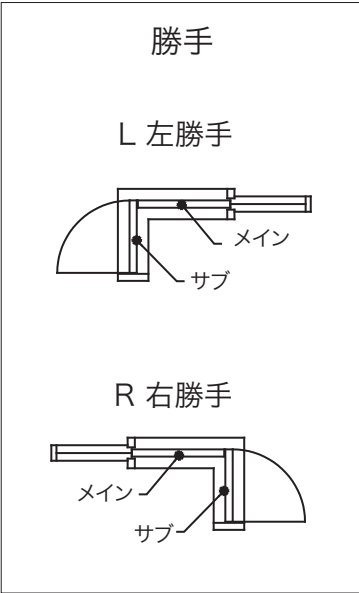
| 扉 梱 包   |  |   |  |       |   |
|---|--|---|--|-------|---|
| 扉   | 2  | 振止ガイド   | 1  | 戸当りゴム | 1 |
|                | <br>固定ネジ...2本<br>アンカー...2本 |   | <br>(ビス付) |       |   |
|   | 丁番   | 2   | バーハンドル   | 2     |   |
| <br>(上)<br>(下) |  |  |  |       |   |

納まり図

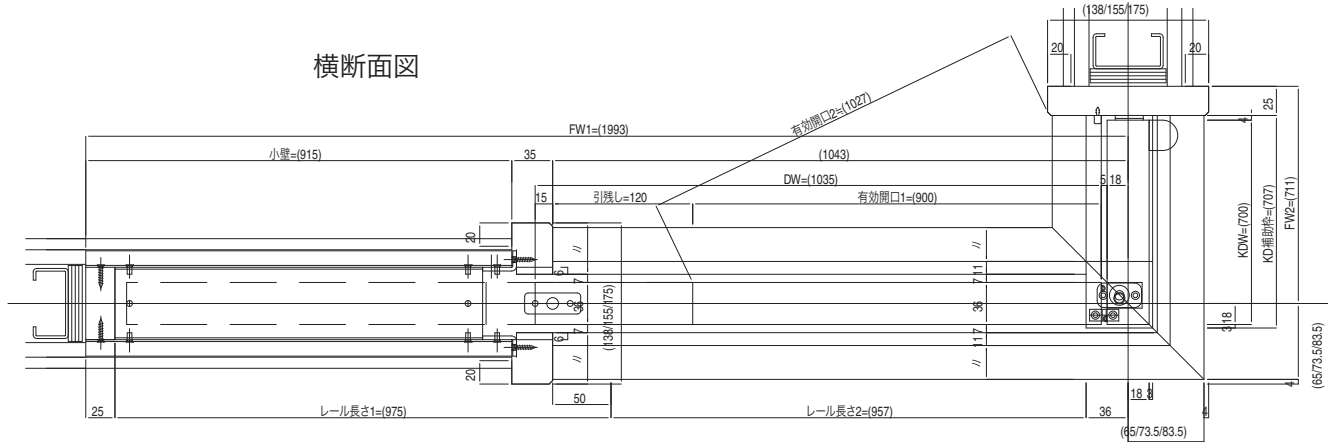


左勝手

縦断面図



横断面図

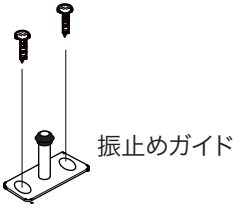
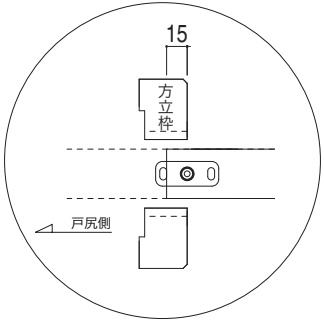
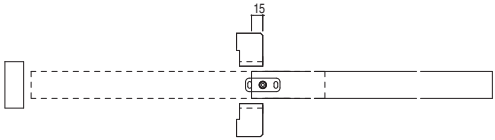


1. 振止めガイドの取付け

①振止めガイドをフローアーにビス止めしてください。

扉を閉じた時の戸尻から15mmの位置に  
振止めガイドの中心を合わせてください。

【ポケット】

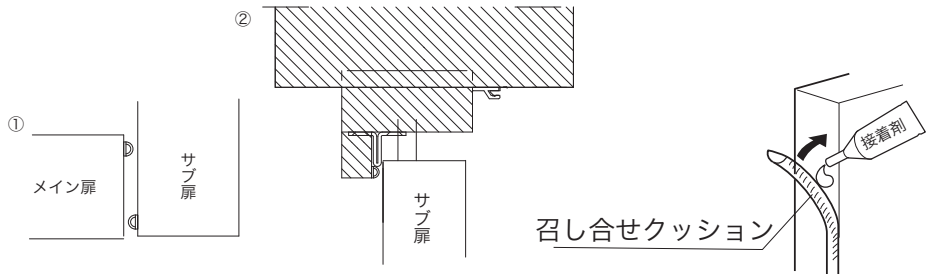


振止めガイド

2. 扉の吊込み

○召し合せクッションの取付け  
接着剤を併用して取付けてください。

- ① 扉の召し合せ部分
- ② サブ扉の上枠連結部材



○戸当りゴムの取付け  
メイン扉の戸尻側へ取り付けてください。  
ハンドルの中心とゴムの中心を合わせてください。

○フランス落しの取付け  
サブ扉にフランス落しを取り付けてください。

《吊込み》

①扉を吊り込んでください。

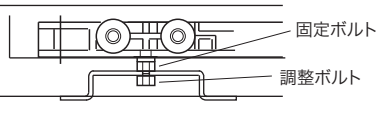
【メイン扉】  
まず、振止ガイドに扉の下の溝を合わせてください。  
次に、扉上部についたハンガープレートに  
吊車を差し込み、ボルトを締めて固定してください。

【サブ扉】  
丁番で固定してください。

※取付け方法は別紙の小扉説明書をご覧ください。

《調整》

③必要に応じて扉の高さ調整を行ってください。



左に回すと扉が下がります。  
右に回すと扉が上がります。

**注意** 高さ調整後、必ず固定ボルトをしっかりと  
締めてください。扉の落下に繋がります。

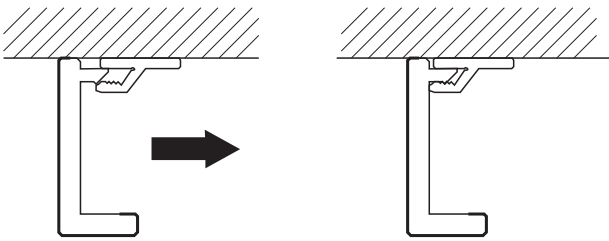
ゆっくりと扉を閉じ、ダンパーが作動  
することを確認してください。正常に  
作動しない場合は扉をカチッというま  
で閉じ、再度確認してください。

3. 部品の取付け

《ハンガーカバーの取付け》

①ハンガーカバーを上枠の受け材にはめ込んでください。

◆ハンガーカバー



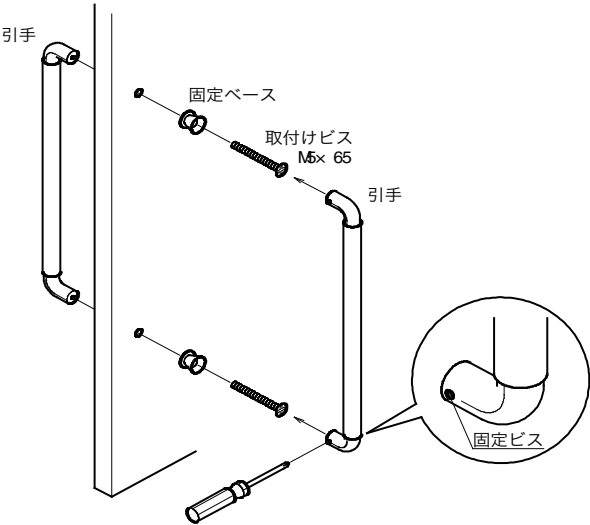
《引手の取付け》

①メイン扉にハンドル引手を取り付けます。

②取付けビスを固定ベースに挿入し、扉のリード穴から  
片側の引手をビス止めしてください。

③もう片方の引手を固定ベースにはめ込み、引手の側面  
にある固定ビスを回して固定してください。

- ◆ハンドル引手
- ◆固定ベース  
(引手付属品)
- ◆引手取付ビス 皿ボルト M5×65  
(引手付属品)



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

＜使用上のご注意＞

- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください。  
(扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります。)
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。